

キャリア育成学科介護福祉コース専門科目カリキュラムマップ(平成31年度入学生2年次科目)

ディプロマ・ポリシーに示す共通到達目標(学修成果)

| 観点 | 到達目標(学修成果) |
|--------------------|--|
| 1. いのちの平等、尊厳性への気づき | あらゆる存在が個人の価値観を超えて絶対的な尊厳性をもって存在することを理解している。 |
| 2. 生かされていることへの感謝 | 生かされていることへの感謝の心を持ち、他を生かす活動を実践することができる。 |
| 3. 倫理観 | 人として守り行すべき道について考え、それを実践することができる。 |
| 4. 知識・技能 | 社会生活を営む上で必要な幅広い知識をもち、職業人として必要な技能を身につけ活用することができる。 |
| 5. 論理的で柔軟な思考と判断力 | 先入観や既成観念等に縛られず、論理的かつ柔軟に思考し判断することができる。 |
| 6. 自己表現力 | 自分の意見や考えを状況に応じた手段で適切に表現することができる。 |
| 7. 主体的な行動力 | 責任感・使命感をもって主体的に行動することができる。 |
| 8. 他者との協働力 | 社会を構成する一人の人間として、異なる価値観や背景を理解した上で連携・協働することができる。 |

ディプロマ・ポリシーに示すこども学科到達目標(学修成果)

| 観点 | 到達目標(学修成果) |
|------------------|---|
| A. 倫理観 | 対人援助の実践をするうえで、介護福祉士の倫理綱領を理解しており、人間の尊厳や人権を守ることができる倫理観を身につけている。 |
| B. 知識・技能 | 高齢者や障害者の介護福祉実践に必要な知識や技能を身につけており、適切に活用することができる。 |
| C. 論理的で柔軟な思考と判断力 | 援助対象者の状態に応じて想定される変化やさまざまな課題に対して、論理的かつ柔軟に思考し判断することができる。 |
| D. 自己表現力 | 介護福祉実践において生じるさまざまなできごとについて学んだ知識を生かし、関係者に対して自分の意見や考えを状況に応じた手段で適切に表現することができる。 |
| E. 主体的な行動力 | 地域社会や福祉施設などにおいて、自ら課題を発見し、目標を決め、解決に向けて主体的に取り組むことができる。 |
| F. 他者との協働力 | 他職種の役割を理解し、組織の一員として関係する人々の意見を聞き、調整しながら連携・協働してものごとに取り組むことができる。 |

| カテゴリー | 授業科目 | 授業概要 | 科目の到達目標 | 到達目標(学修成果)の観点番号・記号 | | | | | | | |
|-----------|------------|---|--|--|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | | 凡例 ◎ DP達成のために特に重要な目標 ○ DP達成のために重要な目標 (一つの到達目標に◎と○一つずつを原則とする) | | | | | | | |
| | | | | 1 | 2 | 3・A | 4・B | 5・C | 6・D | 7・E | 8・F |
| コミュニケーション | 日本語作文Ⅱ | 既習の表現の正確性を高めるとともに、より高度な表現を学習し、正確に使えるよう練習する。様々なタイプの文章を読み、内容を正確に読み取る練習をする。 | 1. 日本語能力試験N2相当の漢字・語彙・文法を習得し、正しい文の組立てができる。 2. 中文程度の文章を正確に理解し、筆者の主張を読み取ることができる。 3. 学習した内容について振り返り、復習する習慣をつける。 | | | | ○ | ◎ | | | |
| | 日本語作文Ⅲ | 既習の表現の正確性を高めるとともに、より高度な表現を学習し、正確に使えるよう練習する。中文～長文程度の文章を読み、内容や筆者の主張を正確に読み取った上で自身の考えをわかりやすくまとめ、述べる練習を行う。 | 1. 日本語能力試験N2相当の漢字・語彙・文法を習得し、正しい文の組立てができる。 2. 中文～長文程度の文章の内容や筆者の主張を読み取った上で内容に関して自分の考えをまとめ、述べるができる。 3. 学習した内容について振り返り、復習する習慣をつける。 | | | | ○ | ◎ | | | |
| アクション | ボランティア実践Ⅱ | ボランティア活動に参加するために必要な知識と手続きを学習した後、学生が自らプログラムを立案、実施する場合とボランティア活動実施団体の企画に参加する場合がある。実施・参加プログラムごとに個人、グループごとに指導する。 | 1. 学内外で身に着けた得意技を広く社会に活かすことができるようになる 2. ボランティア体験活動の中で学び習得した技と心を生涯の糧として、豊かな人生設計に役立てるようになる 3. ボランティア体験活動を通じ、自発性、社会性、無償性の行動を実践できるようになる 4. ボランティア活動のリーダーとして活動の推進、周りへの働きかけができるようになる | | ◎ | ○ | | | | ◎ | ○ |
| ゼミナール | ゼミナールⅡ | 介護福祉に関する各自のテーマに真剣に向かい合えるような実践的な課題を通して介護福祉士としてあるべき姿を考える。テーマに沿った研究、議論、発表、まとめなどを小集団による演習を通して学ぶ。 | 1. 介護福祉研究の目的・意義を理解している。 2. 世の中の動きに関心を持ち、新聞等のメディアを活用した情報収集ができる。 3. 1年次のゼミナール活動で習得した技術を活かして各自が介護福祉に関するテーマを絞り研究レポートの骨子が作成できる。 | | | | ◎ | | | | ○ |
| | ゼミナールⅢ | 介護福祉に関する各自のテーマに真剣に向かい合えるような実践的な課題を通して介護福祉士としてあるべき姿を考える。テーマに沿った研究、議論、発表、まとめなどを小集団による演習を通して学ぶ。 | 1. 介護福祉学に関する実践的な研究方法を身につける。 2. 世の中の動きに関心を持ち、新聞等のメディアを活用した情報収集ができる。 3. 介護・福祉に関する各自のテーマに沿った調査報告ができる。 | | | | | ◎ | | ○ | |
| ビジネス | 日本事情Ⅰ | 地理や歴史といった基本的なテーマについて書かれた日本語の文章を読み、話し合う活動を通して、自分自身の意見を日本語で述べる。介護に関する基本用語の読みと意味を知り、実際の使用場面を意識して学ぶ。 | 1. 目標をに向けて学習活動に取り組む力をつける。 2. 様々なテーマで書かれた日本語の文章を読めるようになる。 3. 多様な視点から自国と日本の文化を捉えて、自分自身の意見を述べられるようになる。 | | | | ○ | | | ◎ | ○ |
| | 日本事情Ⅱ | ポピュラーチャーや経済など多様なテーマについて書かれた日本語の文章を読み、話し合う活動を通して、自分自身の意見を日本語で述べる。介護に関する基本用語の読みと意味を知り、実際の使用場面を意識して学ぶ。 | 1. 目標をに向けて学習活動に取り組む力をつける。 2. 様々なテーマで書かれた日本語の文章を読めるようになる。 3. 多様な視点から自国と日本の文化を捉えて、自分自身の意見を述べられるようになる。 | | | | ○ | ◎ | | ○ | ○ |
| ピアヘルパー | カウンセリング概論 | なぜ人はカウンセリングを受けることで変わっていくのか、そのためには「受容・共感・傾聴」が如何に大切であるか、様々な症状の背景を考えることで学んでいく。 | 1. 心の仕組みについて理解する 2. カウンセリングというものを理解する 3. 人には様々な考え方、価値観があることを知る | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| | カウンセリングの技法 | 前期で学んだ理論を基に、グループワークやロールプレイで体験する。また、カウンセリングとピアヘルピングの違いについても理解する。 | 1. カウンセリングの技法を日常の場でも使えるようになる 2. 専門用語が理解できるようになる 3. 価値観の違いをも受け入れられるようになる | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| | 青年心理学 | 青年期の心理や行動、その背景について考え、自分自身についても振り返り、同世代の心の揺動にも関われるようにピアヘルパーの基本を学んでいく。 | 1. 児童期と青年期の中間にある青年期特有の心理を理解する 2. 青年期に経験しておくべきこと、それがなぜ大切なのか理解できるようになる | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ |
| 人間と社会 | 人間理解 | 高齢者、障害者の介護実践における「尊厳と自立」について、様々な実践を通して具体的に学ぶ。「人間と社会」領域のまとめの授業の位置づけである。 | 1. 介護福祉における「人間の尊厳」の意味を理解する。 2. 介護福祉における「自立」の意味を理解する。 3. 福祉の思想を学ぶことの意義を理解する。 | ◎ | | ○ | | | | | |
| | 人間関係Ⅱ | 演習を交えながら人間の理解や他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を養い、コミュニケーションと人間関係についても理解を深める。 | 1. 介護実践のために必要な人間の理解 2. 他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を養う。 3. 介護の職場で行われるコミュニケーションについての理解を深める。 | | | | ○ | ◎ | | | |
| | 社会保障 | 社会保障制度が生まれた歴史や背景を学び、社会保障の役割について学ぶ。特に我が国の具体的な社会保障の諸制度について詳しく学ぶ。講義だけでなく、課題レポート等により、さらに理解を深める。 | 1. 社会保障制度の概要が理解できる。 2. 我が国の個々の社会保障制度が理解できる。 | | | | ◎ | ○ | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---------|--|---|--|--|--|---|---|---|--|--|---|---|---|
| 医療的ケア | 医療的ケア演習 | 医療的ケアⅡで学んだ知識・技術がモデル人形を使い完全に実施できるようにする。5回の完全実施で合格できるに指導する。 | 1. 医療的ケアに必要な専門的知識・技術が習得されている。 | | | | ○ | ◎ | | | | | | |
| | | | 2. 安全・安楽に配慮した医療的ケアが実施できる。 | | | | ◎ | | | | | ○ | | |
| | | | 3. 医療的ケアに必要な他職種の役割を学び、その連携の必要性が理解できる。 | | | | | | ◎ | | | | | ○ |
| 介護福祉演習 | 介護福祉演習Ⅰ | 介護福祉士養成課程の総まとめとして、既に学んだ「人間と社会」及び「こころからのしくみ」の一部について、振り返りながら再学習する。 | 1. 介護福祉士養成課程の科目を振り返り、基礎知識を再確認することを目指す。具体的には、①「人間と社会」の領域の理解を確実なものにする。②人間関係、人間発達の理解を確実なものにする。③認知症、障害の理解を確実なものにする。 | | | | ◎ | | ○ | | | | | |
| | | | 1. 介護福祉士養成課程の科目を振り返り、基礎知識を再確認することを目指す。具体的には、①「介護」の領域の理解を確実なものにする。②こころからのしくみ、医療的ケアの基礎知識を確実なものにする。 | | | | | | ◎ | | | | ○ | |
| | | | 2. 「介護」の領域の理解を確実なものにする。 | | | | | | ◎ | | | | ○ | |
| | | | 3. こころからのしくみ、医療的ケアの基礎知識を確実なものにする。 | | | | | ◎ | | | | ○ | | |